

平成 29 年 4 月 19 日（水）、四国中央市内で、交通安全教室を開催しました。

●警察官の講話

（県内の高速道路事故概況・情報版について・逆走車を見たときの対処法・もしも高速道路で事故を起こしてしまった時の対処法・走行中、動物が高速道路上に出てきた時の対処法など）



（体を動かすと脳の刺激にもなるということから、実際に体を動かして、運転中に眠気を感じたら近くの SA・PA で早めの休憩を取ることが大切だと警察官からお話がありました。）



●シートベルトコンビンサー（JAF 所有）での時速 5 km/h の衝突体験

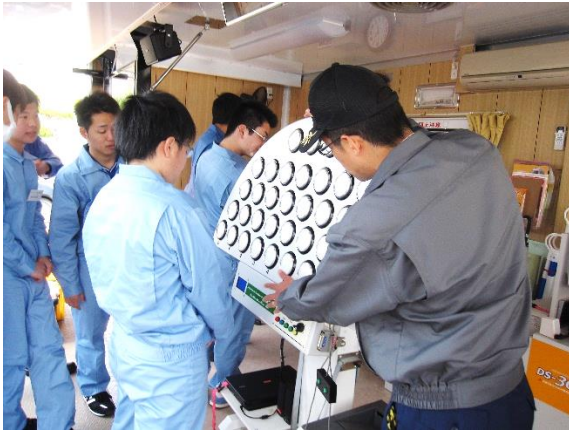
（時速 5 km/h でも衝撃は強く、運転席と後部座席での衝撃の違いを実感していました。）



※シートベルトコンビンサーとは、時速 5 km/h での衝突体験を通じてシートベルトの重要性を学ぶものです。

● 県警の交通安全教育車でのシミュレーション体験

(運転シミュレーションや反射速度を測定し、警察官からのアドバイスもありました。)



● 飲酒ゴーグルを装着しての歩行体験



(一本線上をうまく歩けない方が多数いました。)

高速安協では、会員様限定でこのような交通安全教室の申し込みを随時受け付けています。社内での交通安全教育や新入社員の教養などに、ぜひ活用してください！

